

2019 年 10 月 25 日

## 第11回 博報日本語交流プログラム 日本参加校決定

博報財団(公益財団法人 博報児童教育振興会)は、第 11 回 博報日本語交流プログラムに参加する日本校の決定について、本日、文部科学省 文部科学記者会にて発表いたしましたので、ここにご報告いたします。

▶ 有識者で構成された審査会において、厳正なる審査の結果、次の 2 校が本事業の参加校として選出されました。

日本参加校：      さいたま市立泰平中学校      (埼玉県)  
                         横浜市立仲尾台中学校      (神奈川県)

### ■ 当事業の目的

この事業は、日本語を大切にしながら、異文化体験や国際交流を通じて、海外の生徒と日本の生徒がお互いの理解を深め、国際人として成長する機会を提供することを目的としています。

### ■ プログラム概要

海外で日本語を学ぶ学校の生徒と引率する教師が来日し、同世代の日本の生徒と日本語を通じて交流や異文化体験を行います。

### ■ スケジュール

2020 年 3 月 11 日～3 月 26 日(予定)

### ■ お問い合わせ先

博報日本語交流プログラム (担当: 白尾、一宮)  
TEL. 03-5570-5008 / FAX. 03-5570-5016 / E-mail. [hakuho.gn@hakuhodo.co.jp](mailto:hakuho.gn@hakuhodo.co.jp)

事業およびプログラムの内容につきましては、財団ホームページをご覧ください。

この事業は、独立行政法人国際交流基金、公益社団法人国際日本語普及協会、呉鳳科技大学、スリランカ日本語教師会、土日基金文化センター、モンゴル・日本人材開発センター、ルーマニア日本語教師会などの協力によって実施されています。

博報財団(正式名称:公益財団法人 博報児童教育振興会)は、株式会社博報堂の創業 75 周年を記念して 1970 年に設立されました。「ことばの力」を根幹に置き、子どもたちの成長に寄与したいとの願いから、「博報賞」「児童教育実践についての研究助成」「博報日本研究フェローシップ」「博報日本語交流プログラム」「博報財団こども研究所」などの児童教育の支援につながる活動を行っています。2018 年にはこれらの事業に加え、新たに「博報教職育成奨学金事業」を設立しました。